

帝國政府ハ東洋ノ平和ヲ確保シ延イテ世界ノ平和ニ貢獻セントスル意思ノ是ガ各國間ノ平和安寧ヲ企圖スル國際聯盟ノ使命ト其ノ精神ヲ同シウスルコトヲ認メ過去十有三年ニ亘リ原聯盟國トシテ又常任理事國トシテ此ノ崇高ナル目的ノ達成ニ協力シ來リタルヲ欣快トスルモノナリ而シテ其ノ間各國ガ皆ニ他ノ如何ナル國ニモ劣ラザル組織ヲ以テ聯盟ノ事業ニ參與セルハ慶トナシテ尙カスベカラザル事際ナルト同時ニ帝國政府ハ現下國際社會ノ情勢ニ鑑ミ世界諸地方ニ於ケル平和ノ維持ヲ計ラシガ爲ニハ此等各地方ノ現實ノ實際ニ即シテ國際聯盟ノ運用ヲ行フヲ要シ且新ノ如キ公正ナル方針ニ即リ初テ聯盟ガ其ノ使命ヲ全ウシ其ノ權威ノ増進ヲ期シ得ベキヲ確信セリ

昭和六年九月日支事件ノ聯盟付託ヲ見ルヤ帝國政府ハ終始右確信ニ基キ聯盟ノ聯合體其ノ他ノ總會ニ於テ聯盟ガ本事件ヲ處理スルニ公正妥當ナル方法ヲ以テシ實ニ東洋平和ノ増進ニ資與スルト共ニ其ノ威信ヲ高揚センガ爲ニハ同方面ニ於ケル現實ノ事情ヲ的確ニ把握シ該事實ニ適應シテ聯盟ノ運用ヲ爲スノ所要ナルヲ把握シ其中

帝國政府ハ東洋ノ平和ヲ確保シ延イテ世界ノ平和ニ貢獻セントスル爲メ是ガ各國間ノ平和安寧ヲ企圖スル國際聯盟ノ使命ト其ノ精神ヲ同シウスルコトヲ認メ過去十有三年ニ亘リ原聯盟國トシテ又常任理事國トシテ此ノ崇高ナル目的ノ達成ニ盡力シ來リタルヲ欣快トスルモノナリ而シテ其ノ間帝國ガ常ニ他ノ如何ナル國ニモ劣ラザル熱誠ヲ以テ聯盟ノ事業ニ参與セルハ豫トナシテ前カスベカラザル喜際ナルト同時ニ帝國政府ハ現下國際社會ノ情勢ニ鑑ミ世界諸地方ニ於ケル平和ノ維持ヲ計ラシガ爲ニハ此等各地方ノ現實ノ實際ニ即シテ現行條約ノ運用ヲ行フヲ要シ且斯ノ如キ公正ナル方針ニ則リ初テ聯盟ガ其ノ使命ヲ盡クシ其ノ權威ノ増進ヲ期シ得ベキヲ確信セリ

昭和六年九月日支事件ノ聯盟付託ヲ見ルヤ帝國政府ハ終始右確信ニ基キ聯盟ノ宗旨實地ノ他ノ機會ニ於テ聯盟ガ本事件ヲ處理スルニ公正妥當ナル方法ヲ以テシ眞ニ東洋平和ノ増進ニ寄與スルト共ニ其ノ確信ヲ宣揚セシガ爲ニハ同方面ニ於ケル現實ノ實際ヲ的ニ把握シ該實際ニ適應シテ現行條約ノ運用ヲ爲スノ所要ナルヲ標榜シ茲中

支那ガ完全ナル統一國家ニ非スシテ其ノ國內事情
及國際關係ハ複雜異常ヲ呈スルモノ、例外ノ特殊性
ニ當メルコト、從テ一般國際關係ノ規律タル國際
法ノ諸原則及慣例ハ支那ニ付テハ之ガ適用ニ付シ
テシキ變更ヲ加ヘラレ其ノ結果現ニ特殊且異常ナ
ル國際秩序成立シ居レルコトヲ考慮ニ入ルルノ例
對ニ必要ナル努力説調シ來レリ
然ルニ過去十七箇月間所望ニ於ケル影響ノ經過ニ
從スルニ多量ノ影響ハ東洋ニ於ケル影響ノ實際ヲ
把握セザルカ又ハ之ニ直面シテ正當ナル考慮ヲ拂
ハザルノミナラズ國際協約其ノ他ノ諸條約及國際
法ノ諸原則ノ違反殊ニ其ノ解釋ニ付テハ此等諸
國間トノ間ニ嚴重大ナル意見ノ相違アルコト明ト
ナレリ其ノ結果本年二月二十四日臨時總會ノ採擧
セル報告書ハ常關ガ東洋ノ平和ヲ確保セントスル
外何等兵團ナキノ範圍ヲ限ミザルト同時に事實ノ
認定及之ニ差ク點斷ニ於テ甚シキ困難ニ照リ當中
九月十八日事件當時及此ノ後ニ於ケル日本軍ノ行
動ヲ以テ自行極ノ脅威ニ非ズト信斷シ又同事件前
ノ緊張狀態及事件後ニ於ケル事實ノ暴化ガ支那
ノ全責任ニ屬スヲ看過シ得ニテ其ノ政局ニ於ナル
紛糾ノ因ヲ作レル一方亞洲國成立ノ原相ヲ無視シ
且同國ヲ承認セル常關ノ立場ヲ否認シ東洋ニ於ケ

ル事能安定ノ基礎ヲ破壊セントスルモノナリ殊ニ其ノ勸告中ニ添ゲラレタル條件ガ東洋ノ實際確保ニ何等貢獻シ得ザルハ本年二月二十五日帝國政府陳述書ニ詳述セル所ナリ

之ヲ要スルニ多數聯盟國ハ日支事件ノ處理ニ當リ現實ニ不平ヲ確保スルヨリハ適用不能ナル方式ノ尊重ヲ以テ一層重要ナリトシ又將來ニ於ケル紛争ノ禍根ヲ芟除スルヨリハ架空的ナル聯盟國ヲ以テ一段貴重ナリトセルモノト見ルノ外ナク他國此等聯盟國ト稱呼トノ間ニ強約其ノ他ノ條約ノ條約ニ付重大ナル意見ノ相違アルコトト前記ノ如クナルヲ以テ茲ニ帝國政府ハ平和維持ノ方策殊ニ東洋平和確立ノ根本方針ニ付聯盟國ト全然其ノ所信ヲ異ニスルコトヲ承認セリ仍テ帝國政府ハ此ノ上聯盟國協力スルノ餘地ナキヲ信シ聯盟國第一條第三項ニ基キ帝國ガ國際聯盟ヨリ撤退スルコトヲ通告スルモノナリ

ル軍備安定ノ基礎ヲ確立セントスルモノナリ殊
ニ其ノ通告中ニ述ゲラレタル條件ガ東洋ノ実態
確保ニ何等貢獻シ得ザルハ本年二月二十五日
閣府陳述ニ詳述セル所ナリ
之ヲ要スルニ多難聯立ハ日支事件ノ處理ニ當
リ現實ニ不平ヲ確保スルヨリハ通牒不備ナル方
式ノ尊重ヲ以テ一層重要ナリトシ又將來ニ於ケル
ル紛争ノ禍根ヲ芟除スルヨリハ架空的ナル理
ノ擁護ヲ以テ一層尊重ナリトセルモノト見ルノ
外ナク他面此等二盟國ト帯國トノ間ニ親約其ノ
他ノ條約ノ締結ニ付重大ナル意見ノ相違アルコト
ト前記ノ如クナルヲ以テ茲ニ帝國政府ハ平和條
約ノ方針殊ニ東洋平和建立ノ根本方針ニ付
ト全然其ノ所信ヲ示スルコトヲ確認セリ仍テ
帝國政府ハ此ノ上聯盟ト協力スルノ餘地ナキヲ
信シ聯盟規約第一條第三項ニ基キ帝國ガ國際
間ヨリ引退スルコトヲ通告スルモノナリ

ル東洋安定ノ基礎ヲ破壊セントスルモノナリ殊
ニ其ノ報告中ニ稱ゲラレタル條件ガ東洋ノ安寧
確保ニ何等貢獻シ得ザルハ本年二月二十五日帝
國政府陳述會ニ詳述セル所ナリ
之ヲ要スルニ多數聯盟國ハ日支事件ノ處理ニ營
リ現實ニ不平ヲ確保スルヨリハ遠慮不憚ナル方
式ノ意旨ヲ以テ一層重要ナリトシ又將來ニ於ケル
ル紛争ノ禍根ヲ芟除スルヨリハ架空的ナル理論
ノ擁護ヲ以テ一層貴重ナリトセルモノト見ルノ
外ナク他亦此等聯盟國ト帝國トノ間ニ締結スル
他ノ條約ノ精神ニ付重大ナル意見ノ根據アルコト
ト前記ノ如クナルヲ以テ茲ニ帝國政府ハ平和維
持ノ方策殊ニ東洋平和建立ノ根本方針ニ付門戸
ト全然其ノ所信ヲ示ニスルコトヲ承認セリ仍テ
帝國政府ハ此ノ上聯盟ト協力スルノ餘地ナキヲ
信ジ聯盟規約第一條第三項ニ基キ帝國ガ國際
間ヨリ撤退スルコトヲ通告スルモノナリ